

本時のねらい

文章を読み合い、お互いの表現のよい点を見つけ、コメントやアドバイスをを行うことで、まとまった文章を書く力を育成する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

自分自身が選んだ漢字一文字とそれについて書いた文章を班やクラスで共有する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット PC ・ビデオプロジェクタ ・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の作文をタブレット PC のカメラで撮影する。 ロイロノート上で、自分が選んだ漢字一字と作文を提出し、クラス内で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 画像の中で、作文の文字がはっきりと見えるように、ボールペンで清書したものを撮影させる。 ロイロノートのカード上に大きく漢字一文字を書き、タブレット PC のカメラで撮影した作文と紐づけてから、提出箱に提出させる。 回答共有機能を ON にしておき、タブレット PC から他の班のカードが自由に見られる状態にしておく。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> 班内で、各自が作文を発表する。 発表を聞いた後、意見、感想やアドバイスを所定の用紙に書く。 班員からもらった意見やアドバイスをもとに、自分の文章の推敲をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ロイロノートの文章を見ながら、発表を聞く。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 推敲した文章をカメラで撮影して、提出する。 次時までには班の代表として発表する人が誰かを決めておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 推敲した作文を撮影して、ロイロノートの提出箱に再度提出させる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1 自分の作文をタブレット PC のカメラで撮影している様子



写真2 自分の選んだ漢字と作文を紐づけ、提出箱に提出している様子



写真3 各自のタブレット PC で、班員の作文を確認しながら発表を聞く様子

児童生徒の反応や変容

- ・班や班代表の発表を聞くとき、聴覚だけでなく視覚的に伝えることができたので、聞き手にも内容がわかりやすい発表になった。
- ・聞くだけではわからない表記ミスや細かい表現について、アドバイスすることができた。
- ・聞き逃したときに何回も読み直すことができ、他の班の人の作文もたくさん読むことができた。
- ・感想やアドバイスをカードで手渡すのもよいが、ロイロノートを使って、画面上で送ることもできると気づいた。
- ・友だちが書いた作文やアドバイスは、自分の作文の改善点が見つかることにつながり、大変参考になった様子だった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・聞くだけではわからない表記ミスや細かい表現について、ロイロノートで何回も読みなおすことができたので、アドバイスに繋げることができた。
- ・生徒の気づきがあるようにカードをロイロノートでやり取りすることもできるが、今回はあえてカードに書かせた。パソコン入力では簡単に漢字変換できるので、あえて文字を書く方法をとった。子ども達につけさせたい力から、ICT 機器をどこで使うかを考えることは大切である。